

今日のトピック

## S&Pがインドネシアを投資適格級に格上げ

### ポイント1 S&Pがインドネシアを格上げ

他の大手格付け機関は既に投資適格級

### 【国債格付けと格付け見通し】

	格付け	格付け見通し
S&P	BBB-	安定的
ムーディーズ	Baa3	強含み

(注) データは2016年5月19日。  
(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に  
三井住友アセットマネジメント作成

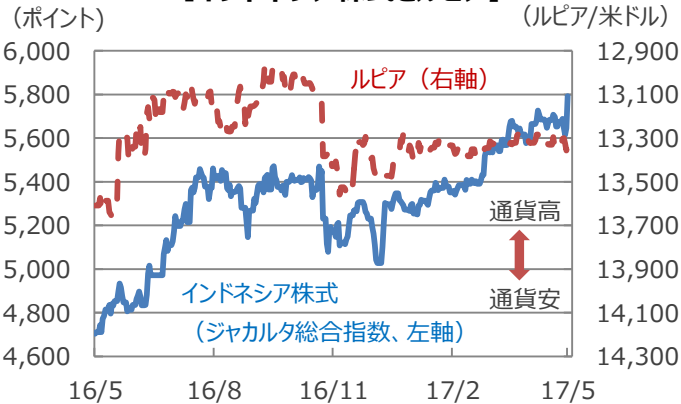
今回BB+から  
一段階引き上げ

- 大手格付け機関のS&Pグローバル・レーティングは、5月19日にインドネシアの自国通貨建てと外貨建ての長期債格付けを、これまでのBB+から一段階引き上げて、BBB-としました。
- 他の大手格付け機関である、ムーディーズは2012年1月に、フィッチは2011年12月にそれぞれインドネシアを投資適格級に格上げしており、今回の格上げはそれらに続くものです。

### ポイント2 株式は最高値を更新

マーケットは格上げを好感

### 【インドネシア株式とルピア】



(注) データは2016年5月19日～2017年5月19日。  
右軸の(ルピア/米ドル)は逆目盛。  
(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

- 格上げが発表された19日は、金融市場はそれを好感した動きとなりました。
- 株式のジャカルタ総合指数は、前日比+2.6%と最高値を更新しました。また、通貨ルピアは対米ドルで同+0.23%、債券市場は10年国債利回りが同▲0.03%程度(債券価格は上昇)の7.01%水準となり、それぞれ小幅ながら、堅調な展開となりました。

### 今後の展開 ジョコ大統領の経済改革により高成長が続く見込み

- 今回の格上げはインドネシアの財政状態の良さが評価されたものです。S&Pは、格上げの理由を「インドネシア当局は財政を安定させるために有効な支出や歳入措置を行っている」としています。その一例としては、ガソリンや電気料金への補助金の削減などがあげられます。
- これらの施策は、ジョコ大統領が着実に経済改革を進めていることの表れと言えます。IMF(国際通貨基金)の予想によると、インドネシアの実質GDP成長率は、2016年の+5.0%に続き、17年は+5.1%、18年は+5.3%と、今後も高成長が続くことが見込まれます。

ここもチェック! 2017年5月17日 アジアの通貨動向(2017年5月)  
2017年4月24日 主要アジア株式市場の見通し

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。